

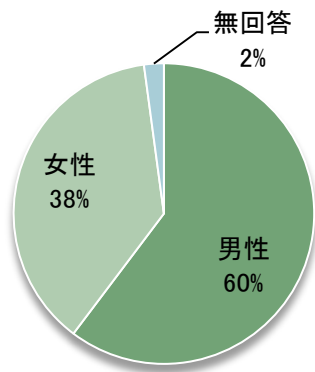
JAXA タウンミーティング in 静岡 開催報告

平成 28 年 3 月 5 日、JAXA タウンミーティング in 静岡 “日本の未来～JAXA の挑戦～” を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる宇宙探査や、「きぼう」日本実験棟の利用について話題をお伝えし、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

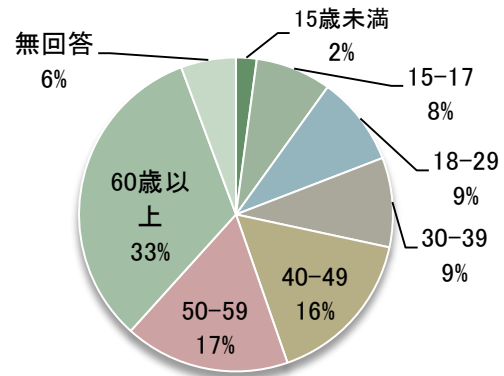
- 開催日時 平成 28 年 3 月 5 日（土） 13:00～15:30
- 会場 静岡労政会館 6 階ホール
- 参加者数 151 人
- 登壇者
 - ・ JAXA 宇宙探査イノベーションハブ 技術領域主幹 倉岡 今朝年
話題：「JAXA 宇宙探査イノベーションハブ
～宇宙探査の持続的発展を目指した新たな挑戦～」
 - ・ JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター 技術領域リーダー 坂下 哲也
話題：「宇宙実験のビジネスへの利用
～宇宙ステーションをあなたの課題解決に使ってみませんか？～」
- 進行コーディネーター
JAXA 広報部 部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：141）

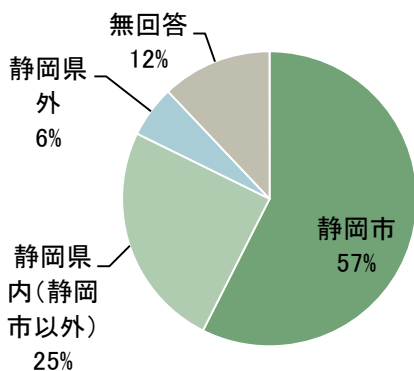
1. 性別



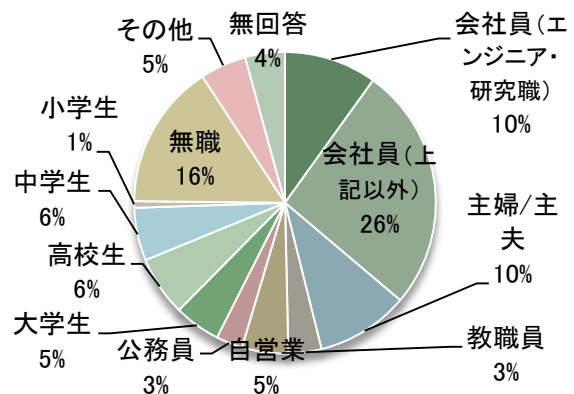
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇「JAXA 宇宙探査イノベーションハブ～宇宙探査の持続的発展を目指した新たな挑戦～」

- ・ JAXA の取り組みがどういうことに生かされているかもっとアピールして進めてほしい。
- ・ 月、火星に行くことに意味があるか、費用対効果は。
- ・ 知的好奇心のためだけにこれだけの税金を使うのはナンセンス。開発や研究は、何を目的に行い、どういう利益があるかを PR してほしい。火星探査～有人飛行をした先になにかがあるのか、いまいち見えない。
- ・ 宇宙探査オープンイノベーションフォーラムを中部地区、北陸でも開いて、中小企業への誘いかけも進めるべき。

◇「宇宙実験のビジネスへの利用～宇宙ステーションをあなたの課題解決に使ってみませんか？～」

- ・ 今日の話聞き、今までに非常に多くの成果をあげていることが分かった。
- ・ 宇宙での実験内容や結果をもっと国民に教えてほしい。

「日本は宇宙探査にどのように取り組むべきと思いますか？」

- ・ 国からの資金が少ないなか思っていたよりも多くのことをやっていると感じた。NASA に劣らない日本の技術を磨いていってもらいたいです。
- ・ アメリカ、欧州と棲み分けるべきところを棲みわけ、モノ作り発展に主軸をおいたものにすべき。
- ・ NASA と積極的に協力して、重要部分のミッションをこなしてほしい。
- ・ 少ない予算ではあるが、宇宙開発を行っている企業以外とも協同し、積極的に宇宙探査に働きかけるべきである。国全体を巻き込んでいただきたい。
- ・ 国民の為に、を意識し、盛んに積極的にやって、成果をあげてください。
- ・ 各国のリーダーシップを取れるように
- ・ 予算が他国より少ないなりに活動をして欲しい
- ・ 海外との政治枠（関係、外交）などは重視せず、世界と共同で人類がより良く生活できるための探査をしてほしい。例えば、災害防止、新薬開発、人間の情緒変化への支援（外出困難な高齢者や障害者が気軽に利用できる身近な成果。）
- ・ RFP による民間との共同開発研究は大賛成で、促進してほしい。特に医学、地球環境と食料増産に関して無重力下での有効なイノベーションが成させる様な方向を希望する。
- ・ 技術開発にはクラウドファンディングを利用する団体などを活用すべき
- ・ 少なくとも小惑星探査は外国に取って代わられないように重点的に取り組んで頂きたい。ISS の運用終了後の長期滞在実験施設の国際協力でリーダーシップをとる。
- ・ 月面に基地をたて、資源などを月で得られるようにすれば理想的だと思う。
- ・ 火星有人探査を早く進めて欲しい。
- ・ 日本単独だけでなく諸外国（特にアジア）との協力を進めていただきたい。

- ・ 我々の日常生活との関わりがわかるような広報活動を十分行うべき。特に学校に啓蒙のための資料を無償で提供するなど。
- ・ まずは生命や生活の向上に繋がるために取り組むべきだと思います。ただし将来に対する技術向上もやらなくてはならないのも理解しています。
- ・ 一般の民間人（技術系でない）にも親しみが持てるような情報公開、わかりやすい形で行いながら宇宙探査を行うべき。
- ・ 宇宙資源獲得を目的とした宇宙探査。月火星探査に重点を置くべき。
- ・ 医療分野の実験をもっと増やしてほしい。

■タウンミーティング、その他について

- ・ JAXA への意見提案の宛先が分かりにくい。
- ・ JAXA の外に対する PR が足りない。
- ・ 今回のタウンミーティングで新たな発見が多くありましたが、まだまだ我々の生活に十分に活かされているとは言えないのではと感じています。広報活動も含め、人的資源の問題もあるかと思いますが、可能な限り積極的に取り組んでいただきたい。
- ・ 討議の内容目的が不明で、参加者のレベルもバラバラなため、終始発散気味に感じました。場としては素敵な試みですが、討議内容を絞りながら進めた方がいいと感じました。
- ・ 基本は秋田で生活しているのもっと多くの場所で講演やタウンミーティングを開催してほしい。
- ・ もう少し少人数で午前、午後の部に分けてほしい。
- ・ 横のつながりが無いと思います。（自治省、警察等）防災関係で同一性がない。良い物が開発されても他の省庁でシステムが採用されないのでは？
- ・ JAXA に親近感がわきました。これからもタウンミーティングを続けてください。
- ・ JAXA の発行している一般向けの月間広報誌を静岡科学館で無料で取得できるので、トピックス等や研究内容をかなり詳細に知ることができ、嬉しく思っているが、この広報誌が広く中高校や地域公民館、図書館等へ配布されるとありがたい。
- ・ 今回のタウンミーティングでは、誰に何をわかってほしいのかどんな人（レベル）が聞いているのかを想定されているのかわかりにくい気がしました。広報（募集時）でももう少しその辺をお知らせいただいたら嬉しいと思いました。
- ・ 始めて参加しましたが良い時間が過ごせました。
- ・ 今後、あるいは過去に行われたタウンミーティングをネットで公開してほしい。ライブ配信とアーカイブ。
- ・ 将来、JAXA に携わるお仕事がしたいな一と思いました。今日はありがとうございました。
- ・ とても良いアピールの機会であったと思います。次回の機会がありましたら参加します。ホームページを見に行きます。
- ・ 今回のように、地方開催を増やしてください。プロジェクト方式で宣伝を主に（アピール）短時間多く開催希望します。
- ・ タウンミーティングを行うことで JAXA のことを身近に感じることができる。寄付金を募っても良いがふるさと納税のようにどんな景品があるかを明記するともっと集まるかも。例えば施設見学ご招待、JAXA 広報をお届け、宇宙グッズ（模造品など）
- ・ 第一部、第二部ともに宇宙と結びつかないような分野の新しい専門知識が必要だと言って

いたが、これを宇宙で活用させようと考えられる人はまだ少ないと思います。もっと関心を持ってもらうためにも宇宙のニュースで「何がすごいのか」を伝えていくことが必要。高校生向けの雑誌を中学生にも届けて欲しいです。あと JAXA's も。

- ・ 何についてミーティングしていたのかよくわかりませんでした。もっとプロジェクトの裏話や身近な技術の中で JAXA が関わってきたものの紹介といった話を聞きたかった。
- ・ もっと若い人の参加が望ましいと考えます。
- ・ JAXA の方のお話だけでなく、参加者の方々の意見もとても面白く勉強になりました。
- ・ 私には専門的なことはわかりませんが JAXA を知るいい機会でした。システム開発などをしている友達に企業との連携を始めていることを伝えます。
- ・ 宣伝をもっと活発にしてほしい。JAXA への就職方法や役職をもっと知りたいです。
- ・ もっと宇宙を身近にするために宇宙の映像や画像を届けてほしい（宇宙飛行士の SNS などからではなく）
- ・ 宇宙教育センターの情報は小中学校の方に重点が置かれていると思いますし、教材の貸出も種類が少なく利用不便です。改良をお願いします。

「どんな人工衛星が必要だと思いますか？」

- ・ 進んだ技術の搭載は必要だと思いますが、何回も作り変えるのはお金もかかるので、基盤を作り、システムやごく一部だけを、更新していく形が大切だと思います。
- ・ スペースデブリを排除するようなもの、地雷探査。
- ・ 防災に繋がる衛星
- ・ 隕石の軌道を逸らす。また月が地球から離れるのを止める。
- ・ マグマ死滅期の惑星の発見と調査により、地球のマグマ活動抑止の一助として、危惧されている南海トラフ地震などの地震発生を軽減させる。
- ・ 日本周辺の資源（レアメタル、エネルギー）を探索する人工衛星
- ・ 必ず地球に帰ってくる人工衛星（宇宙ゴミの削減）
- ・ より精度の高い GPS 装置により衛星から地球表面の 1 枚毎のプレートの動きを精密に観測して、ひずみエネルギーの蓄積状況を知って、精度の高い地震発生予測を行えることができる様な人工衛星
- ・ 探査記録を保管するストレージ（のかたまりのような）衛星、ミニ衛星をリサイクルする工場衛星
- ・ 有害物質の探知や動きを正確に捉える衛星
- ・ 宇宙ゴミを回収してできれば再利用するための衛星や装置
- ・ 環境を制御できる衛星。降雨調整、台風誘導などが可能な衛星。
- ・ 災害などが起きた時に緊急通信手段の確保ができるような人工衛星

「どんな航空機の技術開発が必要だと思いますか？」

- ・ コスト面安全性の 2 つの技術を高めてもらいたい。
- ・ 低コスト、軽量の民間航空機
- ・ 静かで低燃費。滑走路なしで離陸出来る。

- ・ 超低燃費な高速航行出来る航空技術
- ・ 技術開発もそうだが、「利用」。官庁等と広く連携していく「仕組み」づくりを！
- ・ 燃料の省エネ化（太陽電池の超高電力化）、マイノリティに優しい飛行機（身体のみならず精神、知的、発達障害者が乗客）
- ・ はばたきによる飛行技術
- ・ 乗り物酔いの少ない航空機
- ・ 超音速機も早く進めてほしい
- ・ 滞空時間の極めて長い航空機（または飛行体）の技術開発
- ・ ハイブリッド航空機

